

を振り返る

きごとをお届けします。



第3次総合振興計画スタート
興計画に続き、市民生活の利便性の向
ため、計画期間を平成13年度～27年度
策定しました。

都市計画道路柏原新狭山線の橋の
名称を決定

皆さんからたくさんのご応募をい
ただいた柏原新狭山線の橋の名称が
「いるまがわ大橋」に決定しました。柏
原新狭山線は平成15年度の全線開通
を目指しており、現在、いるまがわ大
橋も約半分ほどが架設されています。

公共物管理条例制定(平成14年1月
1日施行)

中心市街地活性化基本計画を策定
水富地区第2期住居表示実施

豊水橋の架け替え工事に着手
平成15年度の完成を目指し、工事が
進んでいます。13年度は橋台と橋脚が
設置されます。



福祉



ささえあいサロン・陽だまりオー
プン

身近な「たまり場」のモデル事業
としてオープンしました。月・金曜
日は高齢者の憩いの場として、火
曜日は子育て中の母親の情報交換
の場として、1回100円で利用でき
ます。狭山ささえあい福祉公社が
ボランティアの皆さんの協力によ
って運営しています。



福祉ガイドブックを作成
介護保険料減免基準を施行
福祉循環バス・茶の花号の路線が増設

乳幼児情報センターオープン

気軽に子育ての相談をしたり、母親同
士の自由な交流の場として活用してい
ただける「乳幼児情報センター」をオープン
しました。乳幼児情報センターは月曜日
から土曜日まで毎日9時30分～16時30分
に開設しています。対象となるのは0歳
児から就学前のお子さんまでで、無料で
利用できます。

教育



入間川小学校が平成13年度公立学校優良施
設表彰で「先進的技術部門」を受賞

公立学校優良施設表彰事業(社団法人文教
施設協会主催)で、入間川小学校が先進的技術
部門を受賞しました。これは「省エネルギー省
資源対策など環境保全に特に配慮された施設
」として認められたものです。

学校給食に「マッチャくん」
が登場

狭山産の抹茶を使用した
パン、「マッチャくん」が学
校給食に登場しました。リン
ゴ入りとそうでないもの
があり、きれいな緑色をし
ています。パンを食べた児
童・生徒には、抹茶の香りと
リンゴのほのかな甘みが好
評で、今後も年に8回程度
登場する予定です。



環境



県内初の狭山市環境ISO連絡会発足

ISO14001を認証取得した事業所と今後取得を目指す事業所計16社を構成員として発足しました。

全国初のノーレジ袋デー実施

11月2日のリサイクル都市宣言記念日に、全国初の「ノーレジ袋デー」を実施し、皆様のご協力で大成功を収めました。今後も継続していきたいと考えています。



サンパーク奥富オープン

10月3日、下奥富に狭山市市民健康文化センター「サンパーク奥富」がオープンしました。地球温暖化の防止やダイオキシン対策など環境に配慮した自治体としては全国でも初めての施設です。



平成13年

狭山の一年

一年を振り返り、主なで

行政

男女共生プラン改訂版を作成
公共施設予約サービスi-mode版を作成
公共施設予約サービスにカード読み取り方式を導入

平成12年度に終了した第2次総合振上や産業活動の活性化などに取り組むに定めた第3次総合振興計画を新たに

防災

県内初の市民災害対策支援車を導入

大規模災害が発生した際に、資機材などを積載・搬送し応急救護所として活用するほか、大勢の軽傷者を一度に医療機関に搬送することができます。応急救護所として使用できる大型テントや、情報収集機材、酸素吸入装置、現場の状況を画像で消防本部に伝送できる静止画伝送装置などが装備されています。



ハザードマップを作成
耐震性消防団車庫が完成

都市整備

市営住宅柏原団地が完成

高齢者の安全や利便に配慮した設備を備え、福祉サービスが受けられる住宅を供給する「シルバーハウジング・プロジェクト」に基き、市営住宅柏原団地が完成しました。29戸すべての住宅で段差をなくして安全性を高め、中でも16戸は高齢者・車いす使用障害者向け世話付住宅となっています。また、太陽光発電を導入し、環境保全にも配慮した住宅です。



その他

21世紀産業育成に狭山市が選ばれる

経済産業省の新たなプロジェクトとして、東京都多摩地域、神奈川県中央部および埼玉県南西部の広域地域を対象に、中小企業を中心とする21世紀型のハイテク産業の振興を図る目的で、(社)首都圏産業活性化協会が発足し、狭山市長らが理事に就任しました。



レスキュー隊が全国大会に出場

第30回全国消防救助技術大会の「ほふく救出の部」で、狭山市消防本部レスキュー隊が見事に入賞を果たしました。